

平成23年1月9日

No.79

高林会計は、「情熱で心をつなぎ、未来へつなぐ」と使命感を掲げています。お客様も思う気持ち、職場の仲間も思う気持ち、家族も思う気持ち、熱い思いで心をつなぎ、お客様、自社、家庭が未来に続いていく。企業は、継続することです。今、継続することを目的に活動しています。一人の人間の命には寿命があります。企業は、未来永劫継続していきます。だから一人の力では、継続することにはできません。企業は、一人一人が協力し同じ目的を持ち、一人一人が努力し、一人一人が思いやり、継続することを、一番に受け止め、一人一人が行動しなければなりません。企業は、誰れのものかと考えれば、未来永劫継続することのもので、社長一人のものでは、絶対ありません。そこに働く人達が、今一人の人間として自己も磨き成長させ、次の世代の人達につなげていく。この企業に関わる人達のものであると思います。そして、会社は、成長させて頂く場であり、だから厳しいことも、いやなことも、めんどくさいことも多くあります。目的を持ち、目標を達成することによって成長します。成長することによって生き方も変わり、悔のない人生となるのではないのでしょうか。愛を表現することではないのでしょうか。会社では、日々の努力が必要となるのだと思います。私自身が、経営者として心掛けることと思うのは、努力が、企業を動かしますが、毎日の努力、人を育てること、譲り、かと思っています。そして、社長の給料は社員さんから頂いています。会社の経営の良否は、社長の責任。忘れずにして思っています。二宮尊徳の名言、「道徳なき経済は罪悪である。経済なき道徳は寝言である。」「大事をなさんと欲せば、小事を怠らず勤むべし。小積ももって大となればなり。」「奪うに益なく譲るに益あり。これが天理」経営者が肝に銘じる言葉かと思えます。今年一年良い年となる事を祈ります。高林幸裕